

2018 スーパーFJ 東北シリーズRd.4&5 参戦報告



Yota Nakatani



Mey handmade accessories

スポーツランドSUGO

第3戦から約2ヶ月のインターバルをあけて
スーパーFJ東北シリーズ第4.5戦を迎えるました。

第3戦ではポールtoウインを獲得することができ
ドライでSUGOを走行することへの自信は大きくなり
またポイントランキングもトップタイに並ぶことができ
シリーズチャンピオンの獲得を目指しサーキット入りしました。

今回は第3戦を欠場した、開幕2連勝のドライバーを含め
10名のドライバーが参戦し、バトルも多くなり簡単に優勝する
ことはできないと予想されました。

更に台風の影響で、まだ経験のないフルウェットでの
レースになる可能性があったのでシリーズチャンピオンへは
まだたくさん乗り越える必要のある試練がありました。

しかしこの先レーシングドライバーとして生きていくなら
いずれ経験することなので、ここでしっかり多くのことを
学ぼうと頭に入れ各セッションを走行しました。



7/27(金) フリー走行3本

2ヶ月ぶりのSUGOはまだ台風の影響もなくドライで走行を重ねることができました。

1本目、スーパーFJマシンに乗るのが

2ヶ月ぶりのため100km走行の中古タイヤでマシンの動きを確認しながら無理をせずに走行。

しかしセッティングがハマリ無理をせずに走行したにも関わらずいきなり30秒台に突入。Best 1'30"980



2本目、タイヤを第3戦で使用した90km走行の中古に交換し、リアのスタビライザーを少し硬くセッティングしてもらい、マシンにも慣れてきたためアタックを繰り返し限界を探りながらの走行でコースアウトやハーフスピンが数回ありましたが、ベストの更新に成功。Best 1'30"660

3本目、2本目と同じタイヤ、セッティングで今度は燃料を予選と同じ搭載量にして、予選でマシンがどう動くかのシミュレーションを目的に走行。タイヤの走行距離が伸びたためベストは更新できませんでしたがそれでもバランスはよく30秒台を記録。Best 1'30"860

7/28(土) 公式予選

この日、遂に台風の影響で朝から霧雨がサーキットを包み朝の段階ではドライかウェットか微妙な状況でした。

予選は午前10時15分から20分間ありベストタイムが第4戦のグリッドになり、セカンドベストが第5戦のグリッドになります。予選直前になると他の併催レースの占有走行もあり、路面はドライ。弱い霧雨が降ったり止んだりしていましたが僕を含め全車スリックで予選開始。



ニュータイヤでしたがタイヤに熱を入れていき計測3ラップ目に31秒フラットを記録。ここでトップに浮上したところで、雨が少し強まり全車タイムアップができずこのままポールポジションかと思った矢先に雨が一瞬止みこのタイミングだけアタックが可能に。ここでトップを奪われましたが、私ももちろんアタックラップに入っていたのでベストを更新。しかし、アタック中に遅いマシンに一瞬詰まつたため0.029秒差でトップを奪えず。その後雨が強まりスリックでは走れず予選終了。ただ3ラップ目に記録していたタイムがセカンドベストでこちらはトップだったため、第5戦はポールポジションを獲得。アタックの位置取りが悪かったためベストタイムを更新できず、しっかり予選でも位置取りは考える必要があると経験不足を痛感しました。

Best 1'30"700 Second Best 1'31"060

7/28(土) 第4戦 決勝

午後1時30分から第4戦決勝が始まります。
予選終了間際に降り始めた雨は強まりはしないものの
決勝前まで降り続き路面は完全にウェットに。
全車ウェットタイヤを装着しグリッドへ。今回雨とともに霧も
出ていたためセーフティカー先導でのローリングスタートに。
セーフティカー先導中しっかりタイヤに熱を入れ、スタートに
備えていましたが、セーフティカー先導は2ラップ続きました。



2ラップ目のバックストレートでセーフティカーの警告灯が消え3ラップ目からレーススタート。
そのラップの最終コーナー、普段とは逆のアウト側がグリップすることをセーフティカー先導中に確認済み
だったのでアウト側から豪快にオーバーテイクに成功しトップへ浮上。このまま後続を引き離そうと思ってい
ましたが、5番手スタートの77号車が迫ってきて明らかに77号車のペースがよく、このままブロックし続けて
もそのさらに後続が追い付いてくると思い、無理なブロックをせず前に出して付いていけるなら付いていこう
としましたが、徐々に引き離されていきそのまま後続も追いついてくることなく2位のままチェックを受けま
した。フルウェットでの経験がなかったとはいえ完全にドライバーの実力差で負けてしまいました。

予選2位→決勝2位

7/29(日) 第5戦 決勝

第4戦から一夜明け、第5戦昼前にサーキットへ到着すると霧が濃く他のレースが行えずスケジュールが変更してました。午後01時05分スタート予定が午後02時40分へ。待機しているとウェットだった路面がドライへ変わり、タイヤは全車slickを選択。ドライだった金曜日一番調子がよかつたリアのセッティングに変更してもらいました。グリッドはポールポジションなのでフォーメーションラップをコントロールし入念にタイヤに熱を入れます。



スタートは良くありませんでしたが、周りもあまり良くなかったため無事ホールショット。ドライでの調子はよかつたため、このまま逃げ切るつもりでしたが雨が降った後のドライで少しコンディションが違ったため3コーナー、最終コーナーでリアが安定せず厳しい展開に。3ラップ目の最終コーナーでリアが流れ加速が鈍り1コーナーで9号車に抜かれます。その後の4コーナーでインが開いていたため飛び込んだところ、ウイングと9号車の左リアタイヤが接触しウイングが傾いてしまいます。そのまま何とか食らいついで勝負所を探しましたが、接触の影響で余計最終コーナーでアクセルを踏めず、1コーナーで勝負できず結局0.6秒差で優勝を逃してしまいました。ミスで優勝を逃したため本当に悔しいです。予選1位→決勝2位

～まとめ～

今回もたくさんのご声援・ご支援をありがとうございます。
支援がなければレース参戦も危ぶまれましたが皆様のおかげで参戦が可能となりました。
そんな中優勝という結果で恩返しできずに申し訳ありません。

第4戦に至っては、経験値からくる実力差で負けてしまったと思います。ただ今回でフルウェットではマシンがどのように動き、コーナーのどこがグリップするか学ぶことができました。なので今回の経験をしっかり自分の実力に変えてもっとしっかり勝負できるようになります。

第5戦は勝てるレースだったのに自分のミスで逃してしまいました。油断や焦りはないと思っていましたが無意識のうちにあってまだまだ詰めが甘いと痛感しました。もう少し我慢して冷静に抜きどころを見極める必要がありました。
あとはコンディションをしっかり把握して、セッティングしてもらえばもう少し楽なレースができたはずです。
ただ接触しバランスが悪くなったマシンでいろいろと試してファステストを記録できたことは良かったです。



Mey handmade accessories

～まとめ2～

これで東北シリーズは終了で結局チャンピオンは獲得できず
シリーズランキングは2位だと思います。

レース経験が全くない状態から、今年の4月にSUGOで
レースデビューして5戦で4回表彰台に上がることができ
そのうち1回は優勝することができて、この5戦で学んだことは
たくさんあり、いい経験になったのは間違いないです。

しかし優勝、チャンピオン以外は負けなので本音を言えば
すごく、すごく悔しいです。

やっぱりそう簡単にはいかないみたいです。
ですがもちろん諦めず、この悔しさを糧にもっと強くなり
さらなる高みに挑戦し続けます。

次は恐らく年末の日本一決定戦なので
皆様これからもどうかご声援よろしくお願ひ致します。



Mey handmade accessories